



令和8年度 第2回 北浜小学校 学校運営協議会



浜松市立北浜小学校

〒434-0036 浜松市浜名区横須賀 8 0 0 番地

電話 586-2990 FAX 586-3035

E-mail: kitahama-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

HP: <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/kitahama-e/>



北浜小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

令和8年7月3日（金）

【日程】 にじいろ日課5時間

- | | |
|---------------------|-------------|
| ○ 給食配膳参観（各教室） | 11:50～12:05 |
| ○ 給食試食会（北校舎1階小会議室） | 12:05～12:50 |
| ○ 授業参観（各教室） | 13:05～13:50 |
| ○ 学校運営協議会（北校舎3階会議室） | 14:00～15:30 |



【学校運営協議会】

<司会:教頭、記録:権部>

開会

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 第1回学校運営協議会の概要（権部）
- 4 議長選出

5 熟議

<議長: >

（1）1学期の教育活動について（大平）

（2）教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談

6 報告

- ・ 1学期の活動報告（学校支援コーディネーター）

7 連絡事項

- ・ 校内夏季研修について（平野）

7月27日（月）AM

※ 教職員が地域の人・もの・ことを知るためのフィールドワーク

学校運営協議会委員の参加は自由

- ・ 次回の予定

第3回 11月27日（金） 授業参観 13:35～14:20

学校運営協議会 14:20～15:40

閉会

【参加者】

(敬称略)

北浜小学校 学校運営協議会委員		
	氏 名	役職等
1	鈴木 隆幸	学校運営協議会会長、健全育成会副会長
2	白井 一光	学校支援コーディネーター
3	高林 未央	学校支援コーディネーター
4	齋藤 千朝	R 7 主任児童委員
5	夏目 恵利	R 8 主任児童委員
6	田原 さやか	P T A 会長

オブザーバー		
1	松野 聖	北浜南部協働センター
2	山本 哲雄	沼町内会 元副会長
3	長谷川 有香	P T A 副会長
4	冨本 知華	P T A 副会長
5	日名地 俊行	P T A 会計

学校職員		
1	伊藤 公美子	校長
2	高林 秀仁	教頭
3	大平 かおり	教務主任
4	平野 暁子	C S 担当
5	権部 朋子	C S ディレクター
6	守屋 香里	北斗学年主任
7	大谷 秀	1 年学年主任
8	澤 香織	2 年学年主任
9	小杉 里栄	3 年学年主任
10	嶋川 吾一	4 年学年主任
11	梅林 智実	5 年学年主任
12	藤原 淳史	6 年学年主任



浜松市教育委員会		
1	横井 靖二	学校・地域連携課

令和8年度 第1回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月27日（月）10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 隆幸、白井 一光、高林 未央、齋藤 千朝、夏目 恵利
※欠席委員 田原 さやか
- 4 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 5 学 校 伊藤 公美子（校長）、高林 秀仁（教頭）、大平 かおり（教務主任）
平野 暁子（CS担当）、権部 朋子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 権部 朋子
- 8 会長の選出

司会者の教頭より、会長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木隆幸氏を推す声が挙がり、全員異議なくこれを承認した。

9 副会長の指名

鈴木会長のより白井一光氏が指名され、全員異議なくこれを承認した。

10 議長の選出

司会者の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は鈴木会長が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和8年度学校運営基本方針の概要説明
- （2）年間行事計画について
- （3）学校いじめ防止基本方針に関すること
- （4）学校応援団の年間活動計画について
- （5）学校運営協議会の自己目標の決定
- （6）「夢育やらまいか」意見書について

12 会議記録

司会者より委員総数6人のうち5人出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

新年度の学校運営の基本方針の概要説明について

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 年間行事計画について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、年間行事計画について説明があり、以下発言があった。

・4月28日(火)の交通安全教室は自転車を持参して行う予定だったが、雨のため延期する。
(教務主任)

・本年度よりラーケーションが始まり、家庭での学びとして休みが取れる。欠席にはならないが、出席にもならない。ただし学校全体・学年行事の日は取ることができない。
(教務主任)

・成績のみ二期制で、運営は三期制というと考えでよいか。
(鈴木会長)

(3) 学校いじめ防止基本方針に関すること

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき「北浜小学校いじめ防止基本方針」について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(4) 学校応援団の年間活動計画について

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき説明があり、以下の発言があった。

・一度登録した人は、次年度再度登録が必要か。
(高林委員)

・一度登録した人はそのまま登録しておくのがよいのでは。
(白井委員)

・前任者を含めて後日方針を相談すると回答。
(CS担当)

(5) 学校運営協議会の自己目標の決定について

別紙資料に基づき会長から「学校運営協議会の自己目標について」説明があり、全員で確認をした。

(6) 「夢育やらまいか」意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき「夢育やらまいか」意見書について説明があり、全員意義なくこれを承認した。

13 報 告

学校応援団の活動である1年生の給食補助について、1クラス2名ずつ7日間給食配膳の補助に入っていた、その後は子供たちだけでできるようになった。
(CS担当)

14 その他連絡事項

司会から次回会議は令和8年7月3日（金）給食配膳参観、給食試食、授業参観後、会議室で開催する旨の報告があった。

令和8年度 学校運営協議会 年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和8年 4月27日 月曜日 11:00～12:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について (4)学校応援団の年間活動計画	1年生を迎える会 10:10～10:55 学校運営協議会 11:00～12:00
2	令和8年 7月3日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)1学期の教育活動の振り返り (2)教職員と学校運営協議会委員との懇談	給食配膳参観 11:50～12:05 給食試食会 12:05～12:50 授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30
3	令和8年 11月27日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校の抱える課題と改善策 (2)全国学力調査の報告 (3)学校評価アンケートについて	授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30 ※学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校へ提出
4	令和9年 2月17日 水曜日 14:30～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価 ・学校評価の自己評価について ・いじめ防止等のための基本的な方針について (2)令和8年度学校運営の基本方針について (3)令和9年度の教育活動について (4)学校運営協議会の自己評価	授業参観 13:35～14:20 学校運営協議会 14:30～16:00

※ 委員の過半数の出席で開催します。【浜松市学校運営協議会規則14条2項】



令和8年度 浜松市立北浜小学校 グランドデザイン

【学習指導要領】

知・徳・体のバランスのとれた
「生きる力」の育成
・知識及び技能の習得
・思考力、判断力、表現力等の育成
・学びに向かう力、人間性等の涵養

【第4次浜松市教育総合計画】

描く夢や未来の実現
○主体性 ○多様性・包摂性
○信頼・協働
・自分らしさ ・他者との協働
・自己調整

【北浜中学区目指す子供の姿】

心豊かにたくましく輝ける子供たち
・北浜中学区いじめ撲滅3箇条

【学校教育目標】

ひとりと みんなで 輝く子

【経営方針】

こどもと おとなが つながる学校

コミュニティ・スクール ～3期目①～

き	キラキラ輝き	～希望がもてる学校～	子供の夢・目標を支える
た	楽しく学び	～探究する学校～	子供の可能性を引き出す
は	励まし育つ	～話す聞く学校～	子供の声に傾聴する
ま	また明日	～守り続ける学校～	子供の命と幸せを守る



【目指す子供の姿】

知

自分の考えを伝え合い、
学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

徳

自分たちの手で安心して
過ごせる学校・学級
をつくる子

- にじいろプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育
 - ・心の時間

体

健康な体をつくり、
自他の命を大切にする子

- 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

北浜小学校グランドデザイン 1 学期の教育活動の実施状況

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

○子供が主語になる授業づくり

・学習環境の整備

一人一台のタブレット型端末が整備されています。学年や学習内容に合わせて使いながら学習を進めています。子供たちも学年が上がるごとにタブレットを使いこなし、目的をもって学習したり、自分のペースで学習したりしています。



自分の考えを画面上のカードに書き入れてまとめています。



グループの意見を出し合って、意見を集約・分類したり、まとめたりして交流もします。

・教科の本質に迫る支援



友だちの顔を見ながらグループで話し合ったり、交流したりすることが基本です。



ノートに書く、三角定規やコンパスを使って実際に手を動かす活動も重要です。



デジタル化が進んでも、自分の手を動かしたり、友達顔を見て話したりして学習することが基本です。どのような学び方が子供たちに必要かを考え、授業を行っています。北浜小の子供たちのため、学び続ける教員集団であるように研修主任や研究推進委員会を中心に、日々授業改善に取り組んでいます。

○生活科・総合的な学習の時間の工夫

- ・身近なひと、もの、こと

低学年の生活科の学習や中・高学年の総合的な学習の時間では、おとなや地域・自然とのつながりを大切にして、実際に体験したり話を聞いたりしています。



2年生が学区探検に行きました。北浜小学区にはどんな施設やお店があるかを探検し、教室で気づいたことをまとめました。



3年生が「北浜小ふしぎたんけんたい」になり、様々な年代の卒業生に話を聞きました。今とは違う学校の様子に驚きました。



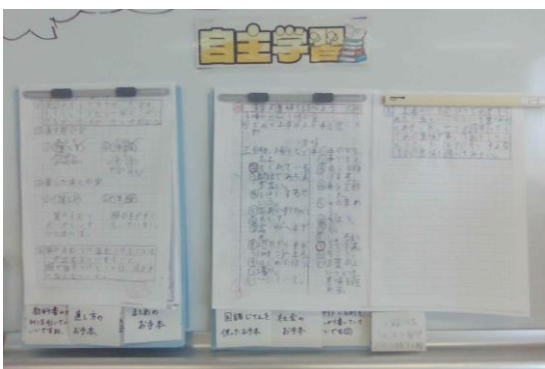
1年生がアサガオの種をまきました。土を触る体験も、子供たちには貴重です。



4年生の総合のテーマは「福祉」。ユニバーサルデザインを探しになゆた・浜北へ。

○学びの連続性

- ・学びを調整する場の作成
- ・家庭学習の充実



家庭学習の取り組み方もいろいろ。自分なりの行い方が見つけれられるように、自分で学習が進められるように支援しています。

子供が自分の学びを計画したり、振り返ったりする時間を設定し、主体的に学べるように支援しています。また、児童がタブレット型端末を毎日自宅に持ち帰り、学校だけでなく、家庭においても子供が計画的、主体的に自分の学びを進めやすくしています。

「子ども自身のための家庭学習」が充実するように、友達の取り組み方を知らせたり、学年だよりでお知らせしたりしています。

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

○にじいろプロジェクトの充実

- ・ キャリア4つの力（かかわる力、自分を高める力、挑戦する力、未来に向かう力）
- ・ 委員会活動
- ・ 縦割り活動



1年生を迎える会。企画委員会が中心となり、縦割り班の友達と親睦を深めました。各班の6年生がしっかり班をまとめました。



掃除も縦割り班で取り組んでいます。1年生もお兄さん・お姉さんに掃除の仕方を教えてもらってだいぶ慣れてきました。

様々な活動を通して、子供たちが北浜小学校や自分の学級をよくしようと頑張っています。高学年の子供たちによる委員会活動は、学校を動かし、リーダーの自覚を促して頼もしい高学年の姿につながります。異学年による交流活動は、全校の子供たちの心の絆を育み、安心して過ごせる学校づくりにつながっています。

○生命と人権の尊重

- ・ 命について考える日 6月12日「命輝き集会」
- ・ 情報モラル教育
- ・ 心の時間

本校の命について考える日は、児童集会として、企画・生活安全委員会が行いました。寸劇で学校の大ピンチを演じ、縦割り班のみんなで、どうすれば解決できるか、自分だったらどうするのかを考え、発表しました。そして、縦割り班で「震源地」というゲームを行い、縦割り班の絆をさらに深めました。



学校の大ピンチ図鑑「友達の名前を間違えて呼んじゃった！こんなときどうする？！」



「大ピンチ、みんなならどうする？」縦割り班のみんなで話し合いました。

③健康な体をつくり、自他の命を大切にする子

○運動に親しむ習慣

- ・運動環境の整備
- ・運動機会の創出

子供たちが、より運動に親しむ機会を確保するために、昼休みの体育館開放をしています。また、竹馬や一輪車も整備中です。子供たちが安心して体を動かして楽しめる場を整えています。また、「体力アップコンテストしずおか」の取り組みも紹介し、学級で取り組むことができるように環境を整える予定です。

○健康・安全意識の向上

- ・食育、保健指導の系統化
- ・実践的な避難訓練、交通教室

成長期である子供たちの体をつくり、健康を保つためには、食育指導は欠かせません。今年度は、4月の教育相談の期間、保護者の食育への関心と理解を深めるため、各学年の昇降口に給食の内容や各学年の給食の量などを展示しました。そして、例年、全学年で栄養教諭による「食に関する授業」を行っています。また、今年度も2年生が給食センターの見学に行く予定です。自分の食生活について考えるきっかけになることを期待しています。

避難訓練、交通安全教室、交通安全リーダーと語る会を4・5月に行いました。警察や地域の方に協力していただき、年度始めに行うことで、命を守る意識を高めました。北浜小学区は交通量も多く、子供たちも自転車を使用することが多い学区です。より実践的な訓練になるよう、高学年の交通安全教室では、実際に児童が自転車に乗ったり、交通指導員による自転車のスピードと停止距離のデモンストレーションを見たりして自転車に安全に乗る意識を高めました。



給食の内容や量について、保護者向けの資料を展示・掲示しました。



交通安全教室（低学年）では、ヘルメットの正しい被り方を教えていただきました。



6年生による「交通安全リーダーと語る会」交通指導員や地域の方と話し合いました。

また、避難訓練は、より実践的な避難訓練を志向して、予告なしで行う避難訓練や雨の日に体育館へ避難する避難訓練を行いました。そして、7月10日には、5・6年生を対象に、起震車体験を計画しています。子供たちが防災意識を高め、自分の命を守ることに繋がっていきます。

北浜小学校 令和8年度 北斗 学年経営案

学年主任 4組 守屋 香里
担任 組 1組 天野由佳子 2組 小栗 武蔵 3組 袴田 知恵
4組 守屋 香里 5組 澤木 有紀 6組 大野 槇也

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ：北斗の星のように ～自分に自信をもって、自分らしく輝く～

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 安心できる雰囲気と、信頼できる仲間や教師との関係を土台にして、気持ちや考えをやり取りする機会を増やす。
- 子供の特性に合わせながら、その子なりのペースや方法で、選んだり考えたりできる場面を設定し、主体的に学ぶ学習環境を整備する。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- タブレットをマナーとルールを守って正しく安全に使う力を育てるため、毎週水曜日の朝活動は、情報モラル教育を行う。
- くすのきタイムを通して、自分の良さや課題を理解し、自分らしさに気付くとともに、仲間の特性や感じ方を知り、互いを認め合える関係をつくる。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- 朝運動の継続や体育館開放の呼び掛けをすることで、運動の機会を増やす。
- 地域の教育資源（ブルーベリー畑）を活用し、「地域を知る・食べる・調理する」の生きた食育を推進する。
- 校内の決まりやマナーについて日々の声掛けを通じ、校内規律を守る意識を根付かせる。

北浜小学校 令和8年度 第1学年 学年経営案

学年主任 2組 大谷 秀
担任 組 1組 永田 朝子 2組 大谷 秀 3組 網代 桃佳

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- ☐ 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- ☐ 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ にじいるプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- ☐ 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- ☐ 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ： きらきら ～小学校の土台作り～

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 学年で指導内容をそろえ、北浜小学校での学習や生活の基礎・基本を定着させる。
- ☐ 生活科の学習に参加してくれるCSや学校応援団の方の名前を紹介する。
- ☐ 保護者と連携して、本読みや書き取り、プリント、計算カードなどのやり方を丁寧に見取る。今後の家庭学習の土台をつくる。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ 具体的な例を示しながら、振り返りの仕方を教える。自分を振り返る経験を積み、振り返り方を身に付けさせる。
- ☐ SSTカードを活用し、人間関係や生活のマナー、社会や学校のルールなどを学ぶ機会を継続してつくる。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 運動量を確保した体育の学習を行う。また、様々な遊び方を経験させ、休み時間に自分たちで遊んだり、遊び方を工夫したりするための土台をつくる。
- ☐ 食事や防災、交通安全などの意味や意義を、児童が理解できる言葉で説明する。

北浜小学校 令和8年度 第2学年 学年経営案

学年主任 1組 澤 香織
担任 組 1組 澤 香織 2組 齊藤 千波 3組 馬淵 奈津紀

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- にじいるプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ：わくわく
～主体的に身の回りの人・もの・ことと関わろうとする思いを育む～

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 児童の興味を引く単元課題を設定する。
- 基本的な学習の仕方を確実に身に付けさせる。
- 様々な学び方を、意図的に設定し、今後学び方を選択できるようにする。
- 生活科の学習では、同学年の児童、1年生、地域の方たちとの関わる時間を設定する。
- 家庭と連携し、家庭学習の習慣の定着を図る。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- 発達上、様々な困難さを抱える児童も含め、児童が集団の中で安心して生活できるよう、振り返りの時間や心の時間などで、認め合いの場を設定する。
- 心の時間（交流活動やSS T）、道徳の時間などを通し、自他の考えの違いに気付いたり、互いの意見を尊重したりする場を設定する。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- 学年遊びや学級遊びを適宜設定し、定期的に体を動かす機会を作る。
- 給食センターの見学や食育の授業を通し、自分の食生活について振り返る場を設定する。
- 避難訓練や防犯教室などの活動の後に、学んだことを振り返り、今後の生活に生かそうとする意識を高める。

北浜小学校 令和8年度 第3学年 学年経営案

学年主任 2組 小杉 里栄
担任 組 1組 根元 美咲 2組 小杉 里栄 3組 高林 航己

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- ☐ 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- ☐ 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ にじいるプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- ☐ 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- ☐ 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ：キラリ☆

☆1 自分のこと大好き！ ☆2 友達のこと大好き！ ☆3 みんなでやること大好き！

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 人の話を最後まで聞くことの大切さを考える場を設け、できるようになったことを見届ける声掛けをする。
- ☐ 北浜小や地域のことに触れる。課題設定、情報収集、まとめなどの過程を意識して、学び方の基礎を伝える。
- ☐ 自分の力を伸ばすための自主学習ノートになるよう、モデルになるノートを掲示したり、個別に声掛けをしたりする。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ 学級の一員として、自分たちの学級を自分たちでより良くする気持ちをもたせて、学級会の話し合い、準備、実践の経験を積ませる。また、ルールを守って一つのことをみんなでやる楽しさを味わわせる。
- ☐ タブレットの使い方の約束を守ること、相手のことを思った発信の仕方等の情報モラルを繰り返し伝える。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 学級遊びや学年集会を定期的に関き、体を動かす機会を設ける。
- ☐ 言葉遣いや正しい廊下歩行が、安全な生活や友達を守ることにつながることを繰り返し考えさせる。
- ☐ 「食育だより」を学級全体に読んで知らせてから教室掲示する。

北浜小学校 令和8年度 第4学年 学年経営案

学年主任 3組 嶋川 吾一
担任 組 1組 中村 望美 2組 杉本 光志 3組 嶋川 吾一

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- ☐ 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- ☐ 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ にじいろプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- ☐ 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- ☐ 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ： 「一歩」

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 算数や国語の話し合いにおいて、「なぜなら～」 「教科書の○行目に～」といった根拠をもとに発言するミニ・ディベート形式の導入。
- ☐ タブレット端末を活用し、友達の意見をリアルタイムで比較・検討する場面の設定。
- ☐ 自学ノート（自主学習）の定着を図り、自分で決めた課題に取り組む習慣を強化する。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ 月に一度、学級の課題を話し合う「クラス会議」を開き、自分たちで解決ルールを決める。
- ☐ 振り返りの会で「今日の一歩」を友達だけでなく、自分のことも含めて発表、称揚する場を設定する。
- ☐ 係・当番活動において、既存の仕事だけでなく「クラスを楽しむ新しい企画」を自分達で企画・運営する。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 20分休みや昼休みに、クラス全員でドッジボールや鬼ごっこを楽しむ「学級遊び」を定期的に開く。
- ☐ 「早寝・早起き・朝ごはん」をチェックする期間を設け、自分の体調と生活習慣の関係を意識させる。
- ☐ 学校内のUDとともに危険箇所を自分達で探検し、福祉教育とともに安全教育も実施する。

北浜小学校 令和8年度 第5学年 学年経営案

学年主任 3組 梅林 智実

担任 組 1組 小柿平 越流 2組 吉川 隆太 3組 梅林 智実

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- ☐ 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- ☐ 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ にじいるプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- ☐ 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- ☐ 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ：HighFive～みんなで挑戦し、みんなとつながる～

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- ☐ 総合的な学習の時間では、浜松市内や北浜学区で、課題を見つけ、解決方法を考えるようにする。その際に、地域の人材を活用する働きかけを行う。
- ☐ 学び方や学ぶ内容を自分で選択できるような学習環境を整える。また家庭学習において、学校での学びを深めていけるように、まずは習慣付け、計画的に行えるように仕掛けをする。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- ☐ 5年生として委員会に参加していく中で、学校を動かす責任と意義を話し合う場を設定する。
- ☐ 情報モラル講座に参加し、学級では水曜日の朝活動で、情報モラル教育を行う。
- ☐ 学校の行事や、委員会のイベントに参加・運営する際に、キャリアのどの力に関わるのか確認する機会を設ける。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

- ☐ 学年のイベントを開催したり、運動委員会のイベントに参加することで、運動の機会を増やす。
- ☐ 栄養教諭と連携し、食育指導を進める。家庭科や体育科の保健の学習の中でも、健康な生活や食事の知識を獲得する。
- ☐ 防災ノートを活用した指導を行う。また、高学年として安全に過ごすために自分ができることを、学級活動や総合的な学習の時間で考える機会を設ける。

北浜小学校 令和8年度 第6学年 学年経営案

学年主任 1組 藤原 淳史
担任 組 1組 藤原 淳史 2組 大城 舞桜 3組 松本 景佑

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」
経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学習環境の整備
 - ・教科の本質に迫る支援
- 生活科・総合的な学習の時間の工夫
 - ・身近なひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・学びを調整する場の設定
 - ・家庭学習の充実

【徳】

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

- にじいろプロジェクトの充実
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
 - ・委員会活動
 - ・たてわり活動
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
 - ・情報モラル教育

【体】

③健康な体をつくり、 自他の命を大切にする子

- 運動に親しむ習慣
 - ・運動環境の整備
 - ・運動機会の創出
- 健康・安全意識の向上
 - ・食育、保健指導の系統化
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

学年のテーマ：TSUNAGU～知識と知識、過去と未来、友達、身近な大人、世の中、見えない努力～

①自分の考えを伝え合い、 学び続ける子

□情報収集の方法、ツール、学習形態（学び相手）、学習課題、学習過程の順に、児童が選択できる学習環境を整備する。教科の本質に迫る発問、単元課題などを工夫する。

□総合的な学習の時間を、3回の探究サイクルで進める。1回目は、学びの基盤となる情報活用能力やコミュニケーション能力などの汎用的な力を育む。2回目は、リアルと出会うプロジェクト型学習。3回目は、知がつながる個人探究型とする。

□デジタルドリルやワークブックなどの学習環境を準備すると同時に、家庭学習の価値と方法を児童と共有する。家庭の学びと学校の学びが連続するような単元構成を工夫する。

②自分たちの手で安心して 過ごせる学校・学級をつくる子

□にじいろプロジェクト（自分と友達が輝いた瞬間を見つける活動）が、企画委員会を中心に、6年生全体で学校づくりを意識し活動できるよう対話の場を設定する。

□委員会活動、特にイベント企画に積極的に寄与するよう声を掛ける。その際、活動はキャリア4つの力とどう関わるとするか予想する場をもつ。

□生命と人権の尊重ができるよう、企画委員会と生活委員会を中心に「命について考える日」を実施する。

□発達に様々な困難を抱える児童が相互に支え合い、心理的安全性を確保し生活できるよう個と集団のバランスを配慮する。

③元気に楽しく体をつくり、 自他の命を大切にする子

□体育科では、主運動につながる運動の充実を図る。また、学びの手引きを活用し、活動内容や技のポイントなどを明確にすることで、実運動量を確保しつつ、主体的に学習に取りめるようにする。

□自転車教室、起震車体験及び薬学講座を実施し、健康・安全意識の向上を図る。実施後には、必ず体験や講座の価値を振り返る場を設定する。

□実際の事例や身近な話から、自分事として考えられるようにし、「健康に過ごすことの大切さ」や「訓練が命を守る力になる」ことを伝えていく。

教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談

	令和８年度の学年経営案の説明	学校応援団に支援してほしい活動
北斗		
１年		
２年		
３年		
４年		
５年		
６年		

